

令和5年度 学校評価における自己評価書

※ ◆具体的目標の学校評価は12月に実施。教師・児童・保護者・地区民を対象に調査。4が最高値。

評価：「A：たいへんよく取り組んでいる」「B：よく取り組んでいる方である」「C：少し改善（努力）することがある」「D：まだ改善（努力）しなければならない」

評価項目（指標）	○実践内容 ◆具体的目標	方策・手立て	自己評価	結果の考察・分析による成果と課題（）は昨年度の結果	接続課題 留意点	学校運営協議会評価コメント	
確かな学力の向上	1 分かる！・できる！授業の展開	○チェックポイントに基づく授業改善 ○児童一人一人の課題の明確化 ○基礎的・基本的内容（音読・漢字・計算）定着 ○ICT機器の効果的な活用 ◆学校評価（基礎学力項目）の全体平均3.2以上	○授業研究会（主題研究）を中心とした日々の授業改善 ○問題集やAI型ドリル教材を用いての習熟の時間の確保による児童一人一人の実態把握と、個に応じた指導の充実 ○定期的な椎葉村ユニット学習の実施	A	◆学校評価の結果・・・3. 5 (3.5) ○授業内で習熟を図る時間を設定し、AI型ドリル教材の活用や個別指導により、基礎・基本的な内容の充実を図った。 ○1・2年生・4年生は道徳、5・6年生は道徳と社会において尾向小学校と椎葉村ユニット学習を行っている。昨年度の経験を踏まえ、研修・研究授業を行い、より充実した授業を行へ、児童は多様な意見交換を実現することができた。	B	○宿題に取り組む姿勢はとても良い。 ○ICT活用学習は、今後さらに進化していくので、児童には正しいスキルを身に付けて活用の幅を広げていってもらいたい。 ●文章を読み解く力が少し弱く感じる部分がある。
	2 読解力の向上	○読解力の知識・技能の指導と要約活動推進 ○読書活動の推進（目標冊数1200） ○落語指導の充実 ◆学校評価（読解力項目）の全体平均3以上	○問題集を活用した読解力向上と要約活動推進 ○読書目標の設定と、継割り班ごとの読書量の数値化 ○文章中心の本を読む読書時間の設定、隙間時間の読書を奨励 ○ワークシートを活用した落語解釈の指導の工夫と5つのポイントを生かした表現力の向上	B	◆学校評価の結果・・・2. 7 (2.7) ○朝の時間や家庭学習で、読解力向上を目的とした問題集や計算問題に取り組んできた。今後も継続してもらいたい。 ○文章中心の本を読むよう声掛けを行うことで、学年に対応した本を読む児童が増えた。 ●校内外での読書時間の設定・呼びかけを行う必要がある。		
	3 学習態度・学習習慣の定着	○ていねいな文字の指導 ○家庭学習の充実 ○前日準備の徹底（忘れ物0） ◆学校評価（学習習慣項目）の全体平均3以上	○立腰や鉛筆の持ち方、ノートの使い方等の指導と学習帳や自学帳の提示・紹介（回る漢字ノート） ○進んで取り組む児童への積極的・具体的称賛と個に応じた声掛けや指導の工夫 ○連絡帳への前日準備の明記と自己評価 ○家庭学習の大切さや必要性について考える場の設定 ○保護者との必要に応じた情報共有や共通実践	C	◆学校評価の結果・・・2. 3 (1.8) ○全校で1冊の漢字ノートを用いて書く家庭学習を取り入れることで、丁寧な文字を書くという意識の向上が見られた。今後も継続し、称賛することで、学習や場に適した文字の使用を指導していく。 ●家庭学習については、取組が不十分な児童も見られた。児童に必要性を伝え、懇談等でも呼びかけていく必要がある。		
豊かな心の育成	1 基本的生活習慣の定着	○「よい子の約束」「不土野っ子あたりまえのこ」と4ヶ条の徹底 ○立腰指導の継続と工夫改善 ◆学校評価（基本的生活習慣項目）の全体平均3以上	○不土野小よい子のやくそく・不土野っ子あたりまえ4ヶ条の周知と実践 ○立腰の体に与える影響の周知と立腰の継続維持	B	◆学校評価の結果・・・3. 1 (2.8) ○折に触れて全員で「不土野っ子あたりまえ4ヶ条」や「不土野小よい子のやくそく」について意識を重ねてきた。少しづつ意識して行動できるようになってきた。 ●姿勢について、授業中や集会等で声かけし意識付けを図ってきたが、今後も指導を継続していく。	B	●少人数でお互いのことをよく知っているが故の対人関係の難しさがあるのかもしれない。相手を思いやる心の醸成を進めてもらいたい。 ●子どもの成長過程でもあるが、興味を持つことに対し、善悪の判断ができず、先走りする一面があるように思う。
	2 思いやりの心と命を大切にする教育の推進	○継割り班の活動の充実 ○道徳科の工夫・改善と評価 ○「抱っここの宿題」による自己肯定感の醸成 ◆学校評価（思いやりに係る項目）の全体平均3以上	○望ましい人間関係の醸成を目指した教育相談アンケート実施 ○多様な道徳的価値にふれる授業実践（椎葉村ユニット学習） ○教育相談アンケートの結果の共有、対策の共通実践による思いやりの言動・態度の育成 ○「抱っここの宿題チェックカード」の活用	B	◆学校評価の結果・・・3. 1 (2.9) ○教育相談アンケートをもとに、職員間で課題に対する支援方法を話し合い、共通理解を図ながら指導してきた。 ○尾向小との週1回の道徳での椎葉村ユニット学習を通して、様々な道徳的価値にふれることができた。 ●友達に対する言葉遣いについては、改善傾向にあるが、引き続きその都度指導していく必要がある。		
	3 危機管理と安全指導の徹底	○危機管理マニュアルの改善 ○安全点検と迅速な修繕 ○児童の安全意識の向上 ◆学校評価（安全に係る項目）の全体評価3.2以上	○危機管理マニュアルの改善と周知徹底 ○児童・職員による安全点検（毎月）の工夫・改善 ○各避難訓練の実施と振り返り ○自他の安全を意識して生活するための常時指導	B	◆学校評価の結果・・・3. 1 (3.1) ○年間4回避難訓練を行い、自他の命を守る行動が取れるように安全意識の向上を図ることができた。 ○学校での過ごし方やきまりについて指導を重ねてきたことで、徐々に自他の安全に気を付けて生活できるようになってきた。		
たくましい体の育成	1 体力の向上	○個に応じた目標の設定 ○体育の時間や休み時間の運動量確保 ○走力、柔軟性が向上する指導 ○運動の日常化及び体力向上 ◆柔軟性の調査で、4月から向上した児童100%	○外遊びや合同体育の実施、認定証の活用等を通じた体力向上の取組 ○体育的行事の目標設定と振り返り、主体的な行事への取組 ○教具の整備や整理整頓による怪我や事故防止 ○一輪車・縄跳び検定表の活用	B	◆学校評価の結果・・・3. 2 (3.3) ○全校で遊ぶ日を設け、週に数回は外遊びをすることで、体力の向上を図ることができた。 ○検定表や記録表を活用することで、児童が意欲をもち、主体的に運動に取り組めるようにした。 ○本年度も施設の不備による怪我等はなかった。	B	○歯みがきに対する指導はとても良い。個人目標も全員が意識し、応援し合えることはとても嬉しい。 ○体力の向上は様々な取組が行われていると思う。 ●生活習慣や食事などについて、各家庭と細かく連携しながら取り組んでもらいたい。
	2 健康の保持・増進	○早寝・早起き・朝ご飯の生活リズムの習慣化 ○歯磨き指導の充実 ◆学校評価（生活リズムに係る項目）の全体平均3.3以上 ◆むし歯治療率100%	○毎朝の健康観察時のチェック ○保健だよりや治療勧告による保護者への啓発 ○保護者と連携した生活習慣についての個別指導 ○児童の健康課題を踏まえた学校保健委員会の実施 ○毎日の給食後の歯みがき指導(H-1グランプリ) ○学校歯科医や養護教諭による歯磨き指導（月1回の染出し） ○個別の健康相談での治療勧告	B	◆学校評価の結果・・・3. 4 (3.4) ○毎朝のチェックで早寝・早起き・朝ご飯が身に付いてきた。 ○はみがき指導を充実させたことで、丁寧なはみがきが身に付くとともに、自分の歯を自分で守るという意識が向上した。また、学校保健委員会でも歯と口の健康について取り上げ、更なる意識向上につなげた。今後も家庭との連携を図っていく。 ●むし歯治療率…50%（保有者4人、治療済2人、治療中2人）再度、個別に治療勧告を行っていく。		
	3 食育の推進	○食に関する指導と「弁当の日」の確実な実施 ◆学校評価（食に関する項目）の全体評価3.5以上	○給食時間の食事のマナー指導 ○参観日等での食に関する授業の実施 ○給食一品目などを活用した食についての指導 ○段階をふまえた「弁当の日」の取組	B	◆学校評価の結果・・・3. 3 (3.5) ○「弁当の日」は、保護者の協力を頂き、児童が自分のレベルに合わせて挑戦することができた。 ●食事のマナーは改善傾向であるが、今後もその場での指導を徹底していくとともに、家庭での協力を呼びかけていく。		
開かれた学校づくりの推進	1 積極的な情報発信	○学校だより、学級通信の定期的な発行 ○H.Pの充実 ◆学校評価（情報発信に係る項目）の全体平均3.4以上	○学校便り（毎月）や学級通信（毎週）の発行 ○P.T.A・地区委員会・学校運営協議会の計画的な実施 ○学校HPの毎日更新、内容充実（学校目標との関連記載） ○役員会・常会等での積極的な情報発信と協力依頼	A	◆学校評価の結果・・・3. 8 (3.6) ○ほぼ毎日学校HPを更新し、学校での活動や児童の様子を発信してきた。また、毎月学校便りを地域・全家庭に配付してきました。 ○学校運営協議会は学期に1回実施し、学校教育についてのご意見をいただいた。 ○地区的役員会に参加し、情報発信や行事等への協力依頼をしてきました。	A	○毎月の学校からの紙面による情報は地域の方のためになり、素晴らしいことと思う。 ○学校便りをとおして児童の様子がよく分かってよかったです。 ●神楽は舞だけでなく太鼓にも取り組み素晴らしい成果を出していた。 ○地域内の人口も減少する中で学校からの情報はよく発信されている感じる。これからも地域とのつながりを深めてもらいたい。 ●民謡・落語に対する子どもたちの積極性がなくなりつつあることに少し懸念を感じる。
	2 地域人材の積極的活用	○民謡・落語の外部指導者の招聘 ◆学校評価（地域連携に係る項目）の全体平均3.3以上	○民謡・落語指導者との連絡・調整（活動2ヶ月前に完了） ○「総合的な学習の時間」の内容検討及び支援（担当職員） ○地域人材の掘り起こしと連絡体制の整備・充実	A	◆学校評価の結果・・・4. 0 (3.4) ○年間計画に沿って、民謡・落語の指導を計画的に行うことができた。大きな行事の前や大会前など重宝的に行うことでき、効果的に指導をすることができた。 ○椎葉村学が始まり、地域人材を改めて振り起こすことができるなど、地域の方の協力のもと学習を進めることができた。協力してくれた地域の方に感謝したい。		
	3 地域愛の高揚	○地域の行事への積極的参加、民謡・落語指導の充実 ○地域学習（椎葉村学）の充実（総合的な学習の時間等） ◆学校評価（地域愛に係る項目）の全体平均3.2以上	○地域行事に関する資料の収集と児童への理解推進 ○椎葉村学を充実するための地域人材と地域素材の活用 ○ふれあい参観日・学習発表会等の内容充実（相手を意識した発表の工夫等）	A	◆学校評価の結果・・・3. 8 (3.6) ○平家祭りやひえつき節日本一大会、子ども落語全国大会等、様々な地域の行事に参加することができた。 ○校内でも学習発表会やふれあい参観日で落語や日頃の学習の成果を発揮する場面を設定し、実施することができた。		
校長所見	<p>○ 今年度も椎葉村ユニット学習を定期的に実施した。尾向小学校とは昨年度同様に、また村内5校とも繋いだ5・6年生の社会科の授業も実施した。他校の児童と様々な意見交流ができることで学びが深まり、複式指導の解消にもつながった。ICT機器の活用では、AI型ドリルも効果的に活用しながら学力の向上を図ってもらいたい。教員も、個々の指導力向上をめざして、互いの授業を見合ったり、各種研修に参加したりしながら、授業改善に取り組むことができた。</p> <p>○ 「不土野っ子あたりまえ4ヶ条」を意識する児童が増えてきている。次年度も引き続き指導を行なう。様々な活動を通してよいところを褒め自信をもたせることで自己肯定感を高めていくとともに、相手のことを思いやる優しい言葉かけや行動ができる児童の育成を図ってもらいたい。</p> <p>○ 保健については、学校歯科医から直接話を聞く機会を設け、むし歯予防の啓発を行った。家庭の協力も不可欠なので、今後も継続して指導してもらいたい。体力向上については、体育の時間のみならず昼休みに外で遊ぶことを推奨していく、体を動かすことの楽しさを味わわせることで、基礎体力や運動技能をより一層高めてもらいたい。</p> <p>○ 開かれた学校づくりについては、学校便りや学校HPで情報発信とともに、地域の皆様が学校の教育活動に参加していただきことで連携を深めることができた。今後も地域との連携をさらに深めていきながら、不土野愛をもった児童を育成してもらいたい。</p>						